

平成27年度当初予算案のポイント

「文化の風かおり 光かがやく 瀬戸の都・高松」を目指して



高松市

目次

平成27年度当初予算の特色

- 1. 27年度当初予算の特色 1
- 2. 予算規模 2
- 3. 重点取組事業 3
- 4. プライマリーバランスの状況 4
- 5. 一般財源の状況 5
- 6. 一般会計歳入歳出予算の主な増減 6
- 7. 財務比率等 9

重点取組事業

- 1. 地域の未来を支える人づくり 10
- 2. 文化芸術・スポーツの振興 13
- 3. 環境保全と地球温暖化への対応 16
- 4. 安全で安心できる生活環境の向上 17
- 5. 子ども・子育て支援の充実 19
- 6. 健やかに暮らせる保健・福祉・医療環境づくり 23
- 7. 都市イメージの向上とにぎわいづくり 26
- 8. 地域を支える産業の振興 29
- 9. 中枢拠点機能の強化とコンパクトで美しいまちづくり 31
- 10. 公共交通・自転車を利用したまちづくり 33
- 11. コミュニティを軸とした協働のまちづくり 34
- 12. 行財政改革の推進 35

1. 27年度当初予算の特色

子ども・子育て支援とにぎわい創出による 高松の都市力増強予算

人口減少社会の到来に備え、子育てしやすく、誰もが暮らしやすい生活環境を整備するとともに、産業やものづくり、観光、文化芸術を振興することで、高松の都市としての活力と魅力を高める予算。一般会計の当初予算規模は、重点取組事業である大型建設事業が本格化したことなどにより、骨格予算ではあるものの、初の1,600億円超えとなる過去最大規模。

(1) 一般会計予算規模は、対前年度76億円(5.0%)の増

(2) 重点取組事業は、12項目・132事業・約285億円を計上

(3) 一般会計のプライマリーバランスは2年連続の赤字

(4) 一般会計では、依然として一般財源不足が生じ、基金を取り崩す状況

2. 予算規模

※以下、四捨五入の関係上、各表間の計数、増減率が合わない場合がある。

【一般会計（A）】

第4期まちづくり戦略計画掲載の重点取組事業の積極的な推進を始め、子ども・子育て支援新制度への移行や、子ども医療費助成事業の拡充、大型建設事業の本格化などにより、過去最大規模の予算を計上

【特別会計（B）】

保険財政共同安定化事業の拡大などにより、国民健康保険事業特別会計が、約86.6億円（17.5%）の増
西日本カップ（FI）の減などにより、競輪事業特別会計が約6.6億円（▲5.8%）の減

【企業会計（C）】

退職給付引当金の減など、前年度に地方公営企業会計制度の改正に対応したことによる反動減

（百万円・%）

区分		27当初	26当初	増減額	増減率
一般会計（A）		160,200	152,600	7,600	5.0
特別会計（B）		111,792	103,407	8,385	8.1
企業 会計 （C）	病院事業	8,392	12,926	▲4,534	▲35.1
	水道事業	13,627	15,079	▲1,451	▲9.6
	下水道事業	21,268	22,691	▲1,423	▲6.3
全会計（A+B+C）		315,279	306,703	8,576	2.8

※土地区画整理換地清算事業の終了により、特別会計（B）の27当初は9会計、26当初は10会計

3. 重点取組事業 ※主な事業は10ページ以降に掲載

重点取組事業は12項目・132事業・約285億円を計上

(1) 子ども・子育て支援の充実

主な事業：保育所・幼稚園への芸術士派遣事業
こども未来館（仮称）整備事業、放課後児童クラブ事業

さらに、経常事業として

(ア) 子ども医療費助成事業において通院医療費の助成対象を
小学生まで拡充

(イ) 教育福祉分野の人的サービスの充実を図るため、「福祉の充実と教育力向上の
ための臨時基金」を前年度に引き続き活用



(2) 地域を支える産業、文化芸術・スポーツの振興、都市イメージの向上と にぎわいづくり

主な事業：伝統的ものづくり支援事業、美術館改修事業
高松メディアアート祭開催事業、瀬戸内国際芸術祭推進事業
屋島陸上競技場再整備事業
移住・交流促進事業、国内・海外誘客促進事業



4. プライマリーバランスの状況（一般会計）

プライマリーバランスは、まちづくり戦略計画掲載事業の積極的な推進などに伴う市債借入額の増加により、26年度に引き続き2年連続の赤字（▲約57億円）
 市債借入額において、臨時財政対策債が約14億円減するものの、合併特例債が約41億円増
 ※プライマリーバランス＝公債費－市債借入額

（公債費と市債借入額の状況）

（百万円・%）

区分		27当初	26当初	増減額	増減率
公債費	①	16,492	16,626	▲134	▲0.8
市債借入額	②	22,177	18,874	3,303	17.5
①－②		▲5,685	▲2,248	▲3,438	▲152.9

5. 一般財源の状況（一般会計）

一般財源不足は2.8億円（26年度2.5億円）となり、財政調整基金1.8億円、施設整備基金1.0億円の取崩しで対応

地方交付税及び臨時財政対策債が大幅に減少したものの、法人の業績向上による市税の増や、26年4月からの消費税率引き上げによる地方消費税交付金の増等により、充当可能一般財源総額は、26年度当初予算と比べ、約1.2億円の増加

(百万円・%)

一般財源	27当初	26当初	増減額	増減率
①市税	63,482	62,957	525	0.8
②地方譲与税交付金等	2,103	2,128	▲25	▲1.2
③地方消費税交付金	8,120	5,727	2,393	41.8
④地方交付税	18,017	18,739	▲722	▲3.9
⑤臨時財政対策債	6,767	8,133	▲1,366	▲16.8
⑥諸収入等	1,065	673	392	58.2
充当可能一般財源 (A)	99,554	98,357	1,197	1.2
所要一般財源 (B)	102,354	100,857	1,497	1.5
一般財源不足額 (A - B)	▲2,800	▲2,500	▲300	▲12.0

6-1. 一般会計歳入歳出予算の主な増減（対26年度当初予算）

《歳入》

市税	• 業績向上に伴う法人市民税の増 8.8億円、評価替えに伴う固定資産税の減 ▲1.4億円
地方譲与税・交付金	• 26年4月からの消費税率引き上げに伴う地方消費税交付金の増 23.9億円
地方交付税	• 基準財政収入額の増等に伴う減 ▲7.2億円
国・県支出金	• 県支出金における子ども・子育て支援新制度に伴う私立保育所運営費負担金の増 8.0億円、障害福祉サービス給付費負担金の増 2.0億円
市債	• 合併特例債借入額の増 40.6億円、臨時財政対策債借入額の減 ▲13.7億円
その他	• 繰入金における財源対策基金取崩しの増 3.0億円、体育施設・文化芸術ホール使用料の減 ▲3.7億円

(百万円・%)

科目	27当初	26当初	増減額	増減率
市税	63,482	62,957	525	0.8
地方譲与税・交付金	10,223	7,855	2,367	30.1
地方交付税	18,017	18,739	▲722	▲3.9
国・県支出金	33,451	31,630	1,822	5.8
市債	22,177	18,874	3,303	17.5
その他	12,850	12,545	305	2.4
合計	160,200	152,600	7,600	5.0

6-2. 一般会計歳入歳出予算の主な増減（対26年度当初予算）

《歳出：目的別》

- 総務費**
 - 瓦町駅ビル利活用事業費 5.1億円、社会保障・税番号制度構築事業費 2.9億円、国勢調査費 1.8億円
- 民生費**
 - こども未来館(仮称)等整備事業費 22.0億円、子ども医療費助成費 4.8億円、私立認定こども園施設型給付費 3.5億円、障害福祉サービス給付費 2.2億円
- 衛生費**
 - 西部クリーンセンター大規模改修事業費 4.0億円、一般廃棄物最終処分場整備事業費 3.2億円
- 土木費**
 - 下水道事業会計出資金 4.6億円、上之町団地住宅建設事業費 2.8億円、道路舗装国庫補助事業費 2.2億円
- 教育費**
 - 美術館整備費 14.8億円、屋島陸上競技場整備費 10.3億円、栗林小学校校舎等建設事業費 2.5億円、龍雲中学校校舎等建設事業費 ▲11.6億円

(百万円・%)

科目	27当初	26当初	増減額	増減率
総務費	17,033	14,986	2,047	13.7
民生費	66,328	63,509	2,819	4.4
衛生費	15,203	14,366	836	5.8
土木費	12,937	12,306	630	5.1
教育費	21,161	20,289	872	4.3
その他	27,539	27,143	395	1.5
合計	160,200	152,600	7,600	5.0

6-3. 一般会計歳入歳出予算の主な増減（対26年度当初予算）

《歳出：性質別》

人件費	<ul style="list-style-type: none"> 職員給与費（退職手当等） 9.3億円、国勢調査費 1.5億円
物件費	<ul style="list-style-type: none"> 南部クリーンセンター管理費 3.0億円、社会保障・税番号制度構築事業費 2.7億円、教師用教科書・教材費 0.9億円
扶助費	<ul style="list-style-type: none"> 子ども医療費助成費 4.5億円、私立保育所運営費 3.6億円、障害福祉サービス給付費 2.6億円 生活保護扶助費 ▲2.6億円
補助費等	<ul style="list-style-type: none"> 私立認定こども園施設型給付費 3.5億円 臨時福祉給付金給付費 ▲6.5億円、子育て臨時給付金給付費 ▲2.9億円
普通建設事業費	<ul style="list-style-type: none"> こども未来館(仮称)等整備事業費 21.2億円、美術館整備費 14.6億円、屋島陸上競技場整備費 10.4億円 龍雲中学校校舎等建設事業費 ▲11.6億円

(百万円・%)

性質	27当初	26当初	増減額	増減率
人件費	30,754	29,381	1,373	4.7
物件費	18,055	17,224	830	4.8
扶助費	38,335	37,656	679	1.8
補助費等	16,897	17,355	▲458	▲2.6
普通建設事業費	24,154	19,736	4,417	22.4
その他	32,006	31,248	758	2.4
合計	160,200	152,600	7,600	5.0

7. 財務比率等（一般会計）

主要比率の状況

- ①自主財源比率、②一般財源比率とも、市債借入額の増などにより、それぞれ1.9ポイント、2.8ポイント減
- ③義務的経費率は、人件費の増を上回る普通建設事業費の増などにより、1.4ポイントの減
- ④市債依存率は、市債借入額の増により、1.4ポイントの増

(%)

比率	27当初	26当初	増減
①自主財源比率	47.6	49.5	△1.9
②一般財源比率	63.3	66.1	△2.8
③義務的経費率	53.4	54.8	△1.4
④市債依存率	13.8	12.4	1.4

ストックの状況

- 市債 A の27年度末残高見込みは、市債借入額の増により、26年度末見込みに比べ約72.4億円（4.6%）の増加。
- ②臨時財政対策債を除くと約37.6億円（4.1%）の増加
- 財源対策基金 B の27年度末残高見込みは、27年度において28億円の財源不足を基金の取崩しで対応するため、26年度末に比べ約27.4億円（▲12.9%）の減少

(百万円・%)

区分	27末見込	26末見込	増減額	増減率	
市債残高 A	165,564	158,326	7,238	4.6	
内訳	①臨時財政対策債	69,941	66,461	3,481	5.2
	②臨時財政対策債除く	95,622	91,865	3,757	4.1
財源対策基金残高 B	18,516	21,252	▲2,736	▲12.9	
内訳	①財政調整基金	12,358	14,107	▲1,749	▲12.4
	②減債基金	1,944	1,942	2	0.1
	③施設整備基金	4,213	5,202	▲989	▲19.0

※予算ベースの見込み

1 地域の未来を支える人づくり (全17事業16.0億円)

次期たかまつ男女共同参画プラン策定事業

拡充

事業費 4,431千円

ワーク・ライフ・バランスなどの施策を総合的に推進するため、「若者」、「企業」、「男性」の視点にも配慮しながら、次期たかまつ男女共同参画プラン(28～31年度)の策定や、啓発事業を実施します。

次期たかまつ男女共同参画プラン(28～31年度)の策定
新規 啓発シンポジウムの開催、啓発リーフレットの作成

児童生徒指導推進事業

拡充

事業費 95,334千円

児童生徒の不登校、いじめ、暴力行為など、問題行動等の未然防止と解消を図るため、専門員等を配置します。

配置場所	専門員等	配置人数
小学校	ハートアドバイザー	40人
中学校	スクールソーシャルワーカー	㊸9人→㊹11人
教育委員会	いじめ相談専門員	2人

小・中学校校舎等増・改築事業

事業費 898,729千円

教育環境の向上を図るため、教室不足が生じている小学校の校舎の増築及び建築後50年以上経過し、老朽化が著しい学校施設の全面改築を行います。

学校名	H27事業	備考
栗林小学校	既存校舎解体、仮設教室リース等	29年度末校舎竣工予定
三溪小学校	校舎増築(9教室)	27年度12月竣工予定
屋島中学校	既存プール解体	



高松第一高等学校校舎等改築事業

事業費

85,575千円

生徒の安全や快適な学習環境の確保を図るため、創立90周年（30年度）を目途に、老朽化が著しい高松第一高等学校校舎等の全面改築に着手します。

H27事業

改築基本設計
プール棟等解体実施設計
地質調査など



少人数学級推進事業

拡充

事業費

24,388千円

個に応じた分かる授業を展開するため、市独自の少人数学級編制を行い、確かな学力を育みます。

対象

1学年106人以上
1学年35人を超える小学校（原則、6年生）

配置校

小学校②6校→②7校



学校図書館活性化推進事業

拡充

事業費 137,718千円

児童生徒の読書活動を推進するため、小中学校へ学校図書館指導員を配置します。

学校図書館指導員	②⑥ 58人→②⑦ 62人 (小学校43人、中学校19人) ※兼任配置を含み、全小中学校に配置
----------	---



子どもを中心にした地域交流事業

新規

事業費 1,200千円

各小学校区における、子どもと保護者、地域の大人が交流する事業に対して助成します。

補助金額	15万円（上限）／団体
------	-------------



2 文化芸術・スポーツの振興（全13事業45.5億円）

屋島陸上競技場再整備事業

事業費 2,480,027千円

市民ぐるみのスポーツ振興及びスポーツを通じた健康増進・住民相互の交流等の推進を図るため、基本構想及び基本計画に基づき、屋島陸上競技場を再整備します。

建設工事（26～28年度）
29年春オープン（予定）

施設概要

第2種公認陸上競技場
スタンド席 5,000人以上、トラック 400m×8レーン、
補助競技場（200m×6レーン）など



地域密着型トップスポーツチーム支援事業

拡充

事業費 20,543千円

本市から全国への情報発信を始め、市民のふるさと意識の高揚や、スポーツ振興を通じた市民の健康増進等を図るため、地域密着型トップスポーツチームを支援します。

新規 アウェイサポーターおもてなし事業

拡充 高松市民応援デーの開催

パブリック・ビューイングの開催支援

ユニフォームへの高松市ロゴマーク掲載

児童生徒等の観戦誘致



- ・香川オーリーブガイナース（野球）
- ・カマタマーレ讃岐（サッカー）
- ・高松ファイブアローズ（バスケット）
- ・香川アイスフェローズ（アイスホッケー）

高松メディアアート祭開催事業

拡充

事業費

37,731千円

本市の文化芸術の振興と新たな産業を創出するため、先端メディア・テクノロジーを使用したメディアアートによって、高松の魅力を表現する「高松メディアアート祭」を開催します。

開催時期：H27.12.18（金）～27（日）（予定）

開催場所：玉藻公園披雲閣、中央公園、中央商店街など



アート・シティ高松プロモーション事業

新規

事業費

16,434千円

「高松市文化芸術振興計画」に基づいた、文化芸術の振興に関する総合的かつ計画的な事業を推進します。

0才からのコンサート事業

まちなかコンサート事業

たかまつ大道芸フェスタ事業

MUSIC BLUE TAKAMATSU実行委員会負担金



美術館改修事業

事業費

1,519,694千円

高松市美術館の文化芸術の発信拠点としての機能を強化するため、25年3月に策定した「高松市美術館改修基本計画」に基づき、計画的に改修をします。

改修工事（26～27年度）
28年3月リニューアルオープン（予定）



史跡・天然記念物屋島活用事業

拡充

事業費

21,329千円

史跡・天然記念物である屋島の保存と活用を図るため、歴史的・地質学的に貴重な特性を、市民が再認識できる機会を提供します。

新規 屋島城跡城門遺構OPEN記念式典（28年3月予定）

新規 城門遺構復元図（CG）作製

サンクリスタル屋島学習事業など



3 環境保全と地球温暖化への対応 (全9事業 15.9億円)

「いざ里山」市民活動支援事業

拡充

事業費 1,630千円

市民が身近な自然を見直すきっかけづくりのため、地域住民、ボランティア団体、市民活動団体等が行う里山保全活動を支援します。

拡充
居住地近くで、従来、生活の一部として利用されていた里山
(新規3団体、継続1団体)



汚水処理施設共同整備事業

拡充

事業費 1,068,734千円

効率的な汚水処理を行うため、衛生処理センター中継所に、し尿等の前処理施設を整備し、汚泥移送管(海底管)で東部下水処理場に移送後、下水とし尿等を共同処理(MICS事業)します。

H27	建設工事
H28	試運転
H29	共同処理開始予定



4 安全で安心できる生活環境の向上（全23事業120.7億円）

身近な公園整備事業

拡充

事業費 200,907千円

「高松市緑の基本計画」に掲げる目標である「1小学校区1公園」を実現し、市民1人当たりの公園面積の向上を図ります。

新規	太田南皿井公園（仮称）	用地購入等
新規	仏生山駅西公園（仮称）	用地購入等
	勅使大隅公園（仮称）	整備工事
	三谷公園（仮称）	整備工事



消防署所適正配置整備事業

事業費	988,570千円
債務負担行為	H28 613,820千円

効果的な消防体制を構築するとともに、防災拠点施設としての機能を十分に発揮するため、消防署所の適正配置（移転整備・機能統合・耐震化）を図ります。

北消防署朝日分署	H29年4月開署予定
東消防署	H28年4月開署予定

デジタル式同報系防災行政無線整備事業

拡充

事業費 212,141千円

アナログ式の同報系防災行政無線をデジタル式へ更新するとともに、防災ラジオの普及啓発を図ります。
[1,000円/台で販売]



防災ラジオ

危機管理センター（仮称）等整備事業

拡充

事業費

272,517千円

本市の防災中枢拠点施設となる、高松市危機管理センター（仮称）等を市役所本庁舎西側に整備します。

建設工事（27～29年度）

新規 高機能消防指令システム等整備事業

危機管理センター（仮称）棟

基礎免震構造 鉄骨造（一部SRC、CFT造）地上8階建て

駐車場・駐輪場棟

鉄骨造 地下1階・地上4階建て

車いす使用者用駐車場棟

鉄骨造 1階建て



住宅建築物耐震改修等事業

拡充

事業費

331,830千円

地震時における被害の軽減を図るため、民間住宅の耐震化を支援するとともに、震災に強いまちづくりの推進のため、緊急輸送道路沿いの建築物や耐震診断が義務化された建築物の耐震化を促進するため費用の一部を助成します。

・緊急輸送道路沿いの特定建築物の耐震診断・耐震改修に対する助成

補助額：耐震診断・改修費用の2/3
（上限：診断400万円、改修6,000万円）

・民間住宅の耐震診断・耐震改修に対する助成

補助額：耐震診断費用の9/10（上限9万円）
耐震改修費用の1/2（上限90万円）

建築物の耐震改修の促進に関する法律の改正により耐震診断が義務化された建築物の耐震診断・補強設計・耐震改修【拡充】に対する助成

5 子ども・子育て支援の充実（全8事業41.1億円）

保育所・幼稚園への芸術士派遣事業

拡充

事業費 37,617千円

子どもが持つ感性や創造力をより大きく伸ばすため、保育所、こども園、幼稚園に芸術士を派遣します。

保育所・こども園	②630→②732か所
幼稚園	②65→②78か所



こども未来館（仮称）整備事業

事業費 2,213,455千円

市民文化センター跡地に、子どもを主体とした、子どものための施策・事業を実施し、子どもを中心として幅広い世代の人々が交流できる施設を整備します。

本体建設工事（H26～28年度） 28年11月開館予定
 ※平和記念館（仮称）、男女共同参画センター、図書館と一体整備

施設概要	地上7階 建物延床面積：6,815.4㎡
施設構成	市民交流ゾーン（ふれあい・夢ひろば等） 子育て支援ゾーン（みんなのひろば等） 科学体験ゾーン（プラネタリウム等）



公立保育所・幼稚園施設整備事業

拡充

事業費	1,033,898千円
債務負担行為	H28 1,342,766千円

施設の老朽化の状況を踏まえ、子どもが健やかに育つ環境をつくるため、公立保育所・幼稚園の施設整備を計画的に実施します。

長寿命化計画に基づくもの

実施設計、改修工事、便所改修工事、遊具更新など

香川地区保育所等施設整備基本構想に基づくもの

大野地区統合保育所整備工事、川東保育所改築工事など



大野地区統合保育所



川東保育所

放課後児童クラブ事業

拡充

事業費	577,331千円
-----	-----------

保護者が仕事等により、昼間家庭にいない児童のために、適切な遊び及び生活の場を提供します。

クラブ数	㊿44→㊿46クラブ
------	------------

新規	東植田校区、塩江校区開設
----	--------------

拡充	夏休み限定教室 3教室 栗林校区、亀阜校区、中央校区
----	-------------------------------



さらに、經常事業としての
子ども・子育て支援の充実

子ども医療費助成事業

拡充

事業費

1,588,800千円

子育て家庭の負担の軽減と、子どもの健やかな育成を図ることを目的として、子ども医療費助成制度を実施しています。

27年度4月診療分から、医療費助成制度を拡大します。

	現在	変更後 (27年4月診療分から)
通院	小学校就学前まで (満6歳に達する日以降の最初の3月31日まで)	小学校6年生まで (満12歳に達する日以降の最初の3月31日まで)
入院	中学校3年生まで (満15歳に達する日以降の最初の3月31日まで)	

私立認定こども園施設型給付事業

小規模保育事業等地域型保育給付事業

私立幼稚園施設型給付事業

新規

事業費

639,919千円

27年4月より、子ども・子育て支援新制度が本格実施されます。

新制度移行施設数

施設型 給付	私立認定 こども園	幼保連携型	2園 1分園
		幼稚園型	1園
	私立幼稚園		3園
地域型 保育給付	小規模保育事業		2施設
	事業所内保育事業		1施設

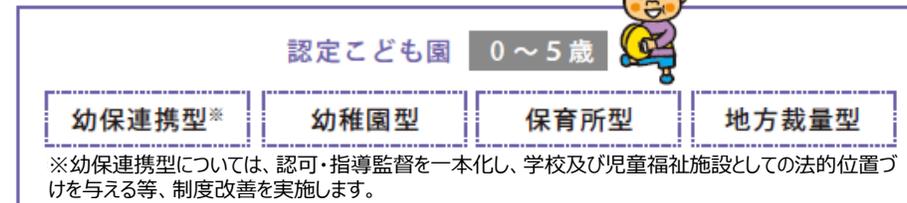
※公立保育所・幼稚園については、全て移行します。

子ども・子育て支援新制度の仕組み

新制度では、「施設型給付」及び「地域型保育給付」を創設し、この2つの給付制度に基づいて、認定こども園、幼稚園、保育所及び小規模保育等に対する財政支援の仕組みを共通化し、教育・保育の量の拡充や質の向上を図ります。

施設型給付

認定こども園(4類型)、幼稚園、保育所を対象とした財政支援



幼稚園

3~5歳

※施設型給付として確認を受けない旨の申出を市町村に行った幼稚園には、私学助成及び就園奨励費補助を継続します。

保育所

0~5歳

※私立保育所は、児童福祉法第24条により市町村が保育の実施義務を担うことにも基づく措置として、委託費を支弁します。

地域型保育給付

新たに市町村の認可事業となる次の4つを対象とした財政支援



6 健やかに暮らせる保健・福祉・医療環境づくり (全15事業7.2億円)

新病院整備事業

事業費 164,508千円

高松市医療全体の最適化を目指すリーディングホスピタルとして、仏生山町の香川県農業試験場跡地に、新病院を整備します。

- ・造成工事
- ・実施設計再積算等業務委託など

(開院予定) 平成30年度前半



障がい者就労支援促進事業

拡充

事業費 24,770千円

障がいのある方の就労促進と社会的、経済的な自立促進を図るため、知的障がい者・精神障がい者等の一般就労へ向けた支援を行います。

拡充「障がい者就労の場」雇用創出事業

中央商店街の空き店舗で障がい者を雇用し、就労を支援する事業への助成 (②⑥1 → ②⑦2 事業所)

障がい者チャレンジ雇用事業

市が障がい者を非常勤嘱託職員として雇用

「障がい者就労訓練の場」創出事業

市役所1階において、障害福祉サービス事業所が授産品の展示販売やコーヒー等の販売の運営ができる場を提供



高齢者居場所づくり事業

拡充

事業費

26,420千円

高齢者が孤立すること等を防ぎ、介護予防と健康づくりなどを推進するため、気軽に集える居場所づくりを支援します。

26～28年度で300か所程度を整備

(助成予定 100か所)

施設整備費助成

- ・1か所当たり上限額 20万円

運営費助成 (開催回数による)

- ・1か所当たり上限額 3万円～7万円/年



高齢者見守り事業

拡充

事業費

34,352千円

高齢者が地域で安心して暮らし続けられる環境を整えるため、緊急通報システムに係るサービスを給付し、災害その他緊急時に迅速に対応を図るなどの、見守り体制を整備します。

拡充 あんしん通報サービス事業
(緊急通報装置貸与等事業からの移行)

高齢者特別あんしん見守り事業

のびのび元気体操普及事業

地域で支えあう見守り活動事業

たかまつ介護相談専用ダイヤル事業



徘徊高齢者家族等支援事業

新規

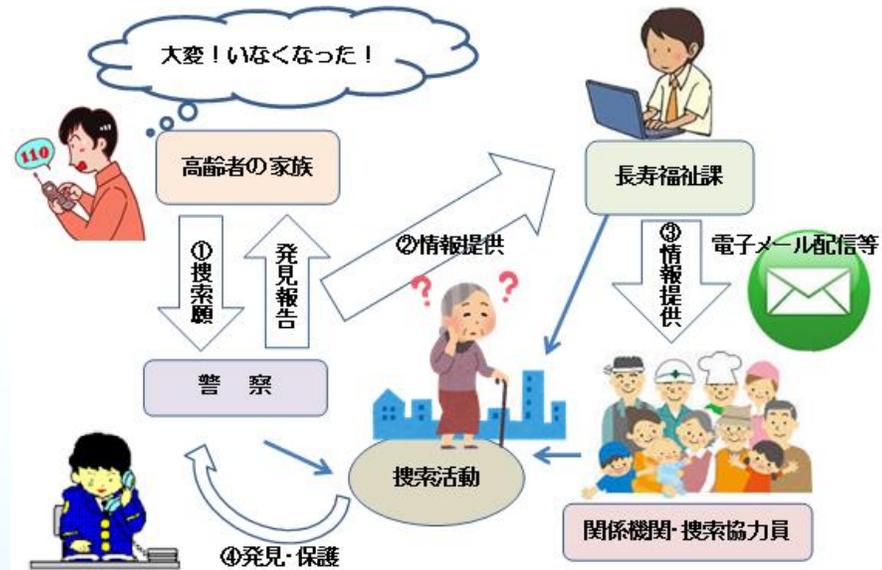
事業費

2,517千円

徘徊高齢者等の早期発見につなげるため、迅速な情報伝達と、より多くの方の協力を得るための施策を実施します。

新規 電子メール配信システムの導入

位置情報検索システム利用の初期費用助成



7 都市イメージの向上とにぎわいづくり (全10事業2.6億円)

観光情報発信・受入態勢整備推進事業

拡充 事業費 18,140千円

本市の魅力外国人等に積極的に周知し、観光客の増加を図るほか、観光情報をわかりやすく発信します。

- 新規 食文化を活かした観光振興事業 (食と音楽を融合させたイベント EAT BEATの開催)
- 海外観光客情報発信事業 (海外版ブログサイト「アート・シティ高松」の管理運営)
- 観光ホームページの維持管理
- 募集型・受注型「団体旅行」誘致促進事業



高松城跡 (玉藻公園) を活かした観光振興事業

拡充 事業費 30,577千円

高松城跡 (玉藻公園) の観光拠点としての知名度アップと本市特産品のPR・普及を推進し、観光客の増加を図るための事業を実施します。

- 新規 玉藻公園開園60周年記念事業
- 拡充 高松城跡石あかりロード事業 (26夏→27夏・春実施)
- 拡充 盆栽カフェ事業 (")
- 拡充 高松城跡披雲閣匠のおもてなし事業 (")
- 拡充 高松城跡和船体験事業 (12~2月 26運休→27土日祝実施)

高松城鉄砲隊演武事業



海外誘客促進事業

拡充

事業費

128,639千円

台湾や中国からの旅行客を中心に、本市へ外国人観光客を誘致するため、観光プロモーションを積極的に実施します。

新規 JAPAN EXPO出展事業
(H27.7.2(木)~5(日) フランス・パリ
盆栽、漆器及び庵治石製品の展示など)

拡充 観光客誘致対策事業(航空路線(台北・上海・ソウル・成田便)による観光客誘致)

拡充 訪日観光客誘致事業(プロモーション等実施)



姉妹・友好都市提携周年記念事業

新規

事業費

5,754千円

27年度に、南昌市(中国)との友好都市提携25周年を迎えることから、今後の観光客誘致、地元の特産品の販路開拓といった経済交流の新たな分野での交流を模索するため、公式訪問団を派遣するとともに、記念事業を実施します。

公式訪問団の派遣(27年10月予定)

記念式典等の開催



移住・交流促進事業

新規

事業費

14,410千円

人口減少、少子・超高齢社会が本格的に到来する中、移住・交流人口を拡大するため、本市のイメージアップや地域の活性化に資する施策事業に取り組みます。

新規 地域おこし協力隊の受入（4人予定）

香川県移住・交流推進協議会負担金

情報発信の強化、県移住フェアの拡充など



8 地域を支える産業の振興（全6事業1.3億円）

中央商店街にぎわい促進事業

拡充

事業費 87,037千円

商店街の活性化を図るため、空き店舗を活用したにぎわい創出事業を始め、商店街共同施設の改修事業等に対する経費の一部助成や、イベントの企画・運営に対して補助を実施します。

拡充 地域産業活性化促進事業
中央商店街空き店舗活用支援事業
商店街共同施設事業など



平成26年11月に行われたキャラ★フェス

有害鳥獣被害対策事業

拡充

事業費 11,338千円

市内の広範囲で年々拡大するイノシシ等の有害鳥獣による農作物等の被害に対し、高松市鳥獣被害防止計画に基づき、被害の軽減を図ります。

- 新規 カワウ等被害防止対策事業
- 新規 鳥獣被害防止対策推進事業
- 新規 指定管理鳥獣捕獲等推進事業
- 新規 ニホンザル加害個体群緊急対策事業
- 拡充 イノシシ等被害防止対策事業



イノシシ侵入防止柵

伝統的ものづくり支援事業

拡充

事業費

10,758千円

漆芸、盆栽、石製品を始めとする本市の伝統的ものづくり産業の振興のため、販路拡大や後継者の確保・養成を図り、地場産業の活性化を推進します。

新規 ミラノ万博盆栽トップセールス事業
香川県と共同出展し、さぬきうどん、盆栽などをPR
出展期間：H27.8.29～9.1

新規 伝統的ものづくり企画展示セミナー事業

拡充 伝統的ものづくり学校巡回教室事業など



9 中枢拠点機能の強化とコンパクトで美しいまちづくり（全9事業15.7億円）

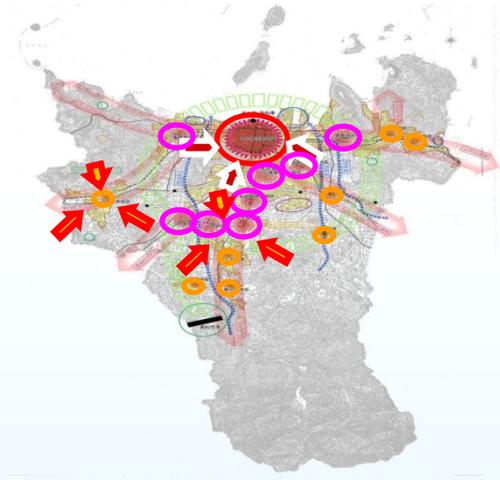
多核連携型コンパクト・エコシティ推進事業

拡充

事業費 10,238千円

「多核連携型コンパクト・エコシティ」を実現するため、集約拠点に「都市機能を誘導するまちづくり施策」と「適正な土地利用の推進」及び「公共交通を基軸とした都市交通の形成」を3つの柱として取り組みます。

新規 立地適正化計画の策定（基礎データ把握整理等）
高松市コンパクト・エコシティ推進懇談会の開催



美しいまちづくり推進事業

拡充

事業費 47,543千円

良好な景観の保全・形成・創出など、魅力ある都市空間を創出するため、建築物や屋外広告物に対する規制・誘導に取り組みます。

- 新規 美しいまちづくり賞表彰（建築・屋外広告物・活動）
- 拡充 景観形成重点地区追加指定検討（サンポート高松周辺地区）
- 拡充 既存不適格広告物改修等補助金【※最高補助率27年度まで】
景観形成助成金（仏生山歴史街道景観形成重点地区）など



さらに、経常事業として…

瓦町駅ビル利活用事業

拡充

事業費

507,024千円

コトデン瓦町ビルを利活用した、行政サービスの充実（市民サービスセンターゾーンなど5つのゾーンを設置）や中心市街地南部地域の活性化、にぎわいづくりに資する事業を展開します。

拡充 8階フロア改修に伴う負担金（27年10月業務開始）

拡充 初度調弁費

フロア賃料



10 公共交通・自転車を利用したまちづくり（全6事業5.4億円）

公共交通利用促進事業

拡充

事業費 153,908千円

多様な交通手段が有機的に連携した、快適で人にやさしい都市交通の形成を図るため、「総合都市交通計画」や「公共交通利用促進条例」に基づき、各種施策・事業の推進や市民啓発活動等を行います。

新規 地域公共交通再編実施計画の策定

拡充 ことでん新駅（三条－太田駅間）整備基本計画の策定

新規 ことでん新駅（太田－仏生山駅間）整備基本構想の策定

電車・バス乗り継ぎ割引補助、高齢者の公共交通利用支援など



自転車利用環境整備事業

拡充

事業費 100,000千円

「高松市中心部における自転車ネットワーク整備方針」に基づき、自転車を利用しやすい環境整備に取り組みます。

	整備手法	路線名
新規	視覚分離（植栽縮小）	西浜港宮脇線、桜町3号・5号線
新規	視覚分離（カラー化）	馬場田町線、桜町3号・5号線
新規	車道混在（路面表示）	八番町西浜新町線、高松長尾大内線

視覚分離



車道混在



11 コミュニティを軸とした協働のまちづくり（全6事業7.2億円）

ゆめづくり推進事業

事業費 21,211千円

地域コミュニティ協議会が、自主的かつ主体的に地域の課題に対応する契機を創出し、地域コミュニティの更なる活性化と基盤の強化に資するため、地域課題の解決等につながる事業に対して支援を行います。

1 協議会当たり年100万円上限（27年度：24地区）
市長表彰の実施（上位4団体）



各地域のゆめづくり推進事業

コミュニティセンター整備事業

拡充

事業費 296,368千円

市民の安全確保と、地域住民によるまちづくり活動の場の推進に資するため、中期整備指針等に基づき、コミュニティセンターを整備します。

- 林コミュニティセンター改築工事
- 国分寺南部コミュニティセンター附属建物等改修工事
- 西植田コミュニティセンター仮事務所関連工事等
- 東植田コミュニティセンター解体工事、仮事務所関連工事等
- 新規 川岡コミュニティセンター改築基本設計など



12 行財政改革の推進 (全10事業6.6億円)

次期総合計画策定事業

拡充

事業費 6,351千円

「第5次高松市総合計画」の計画期間が27年度で終了することから、新たな目標と発展の方向性を定め、各種施策・事業を総合的かつ計画的に推進するため、市政運営の基本方針としての次期高松市総合計画を策定します。

- 第6次高松市総合計画（仮称）（28～35年度）の策定
- 新規 総合計画審議会の開催
- 意見交換会の実施など



社会保障・税番号制度構築事業

拡充

事業費 442,622千円
債務負担行為 H28～32 89,055千円

マイナンバー制度の開始に合わせて、個人番号カードの交付、コンビニ交付の導入、既存システムの改修及び連携システムの開発を行います。

- H27年10月 ・個人番号通知
- H28年1月 ・マイナンバー制度開始
・個人番号カード交付開始
・コンビニ交付開始（予定）

表面



裏面



愛称：マイナちゃん

連携中枢都市圏推進事業

新規

事業費

9,909千円

瀬戸・高松広域定住自立圏から国が進める新たな広域連携制度である連携中枢都市圏への発展的移行を推進します。

連携中枢都市圏構想策定支援業務委託

新規 構想策定懇談会（仮称）や推進委員会の開催

新規 合同調印式の実施、連携中枢都市圏シンポジウムの開催など

